

13

モードの活用

利用するモードを選ぶ	13-2
オフィスモードで使う	13-4
グループモードで使う	13-8

利用するモードを選ぶ

本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

待受モードについて

▶ 公衆モード

ウィルコムの子会社である公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコムの電話機として使います。



▶ オフィスモード 印

事業所用コードレスシステムの子機として使います。



▶ グループモード 印

グループモード対応電話機同士で、トランシーバとして使います。



▶ 電話帳転送モード 印

グループモード対応電話機同士で、電話帳データやブックマークを送受信します。



▶ 公衆+オフィスモード（デュアルモード） 公 印

公衆モードとオフィスモードの2つのモードで同時に待ち受けれます。圏外時のモード、通話・通信時の非通話のモードのアイコンは、薄く表示されます。印は上側の 公 が公衆、下側の 印 がオフィスの状態を示します。優先発信側に ◀ または ▶ が表示されます。



▶ 公衆+グループモード（デュアルモード） 公 印



公衆モードとグループモードの2つのモードで同時に待ち受けれます。通話・通信時の非通話のモードのアイコンは、薄く表示されます。優先発信側に ◀ または ▶ が表示されます。



オフィスモードおよび、公衆+オフィスのデュアルモードで使うには、本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で、本電話機が登録されている必要があります。グループモードおよび、公衆+グループのデュアルモードでグループ通話やグループ電話帳転送を行うには、本電話機1台に加えて、グループモードに対応した端末1台以上が必要です。

待受モードを切り替える（待受モード）

1 待ち受け画面で （Menuボタン）

  と押す

2 を押して、利用したい待受モードを選択する

設定できない待受モードは選択することができません。

3 （決定）を押す

設定したことをお知らせするメッセージが表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 以下のモードは、登録されているときのみ選択することができます。
 - ・ オフィスモード／公衆＋オフィスモード：オフィス登録「オフィスモードで使う」（※13-4ページ）
 - ・ グループモード／公衆＋グループモード／電話帳転送モード：グループ登録「グループモードで使う」（※13-8ページ）
- 通話中は、待受モードの変更はできません。

オフィスモードで使う

オフィスシステム (PBX) に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。

また、ダイヤルアップ設定で、「オフィス」の接続先を、事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどに設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。「ダイヤルアップを設定する」(※9-29ページ)

- 事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用 PHSシステムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
- オフィスシステム (PBX) に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
- オフィスシステム (PBX) は、各会社によって異なります。また、電話のかけ方など操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
- 対応する PBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

■ モードの切り替え

オフィスシステム (PBX) の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆+オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える (待受モード)」(※13-3ページ)

電話をかける

オフィスシステム (PBX) の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、発信設定の「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える (優先発信切替)」(※13-6ページ)

- 市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
- 国際電話がご利用いただけます。


1 内線の場合、相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。
外線の場合、外線発信番号をつけて相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。内線、外線ともにアンテナをのばしてご利用ください。

入力した電話番号が表示されます。


- ▶ 電話帳から電話番号を検索するには
「電話帳を使って電話をかける」(※7-36ページ)
- ▶ リダイヤルなどから電話番号を検索するには
「リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモで電話をかける」(※7-6ページ)
- ▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す：  を押す
すべての桁を消す：  を約1秒以上押す

▶ あらかじめ外線発信番号を登録しておく

と
外線発信番号なしで電話番号を入力した後や、電話帳などからの発信時に  を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号がつけられます。「外線発信番号を登録する (外線発信番号)」(※13-5ページ)

2  を押す

「」が点灯し、相手が出ると通話できます。通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら  を押す

「」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ


- 外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定やご契約の内容によって異なります。
- 国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
- 表示される通話時間は目安です。
- オフィスモードでは分計発信はご利用になれません。「料金分計サービスを利用する（有料）」（※P 12-38ページ）

電話を受ける

1 着信音またはバイブレータが動作し、着信LEDが点滅する

着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信音やアラームを設定する」（※P 7-49ページ）



2 アンテナをのぼし、を押す

「」が点灯し、相手と通話できます。通話時間が表示されます。



3 を押す

「」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ


- 電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。「電話帳に登録する」（※P 7-31ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、、以外のボタンであればどのボタンでも電話に出ることができます。「エニーキーアンサー」（※P 12-11ページ）

外線発信番号を登録する（外線発信番号）

外線発信番号を登録することができます。登録しておく、直接ダイヤルした番号、電話帳、リダイヤル、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに  を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的につけることができます。もう一度  を押すと、外線発信番号は消えます。

1 待ち受け画面で （Menuボタン）

  と押す

2 を押して「4.外線発信番号」を選択し、○（決定）を押す

3 ダイヤルボタンで外線発信番号を入力する

外線発信番号は6桁まで入力できます。

▶ 外線発信番号を修正するには

最後の1桁を消す：を押す

すべての桁を消す：を約1秒以上押す

4 ○（決定）を押す

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）

待受モードを「公衆+オフィス」に設定しているときに、公衆またはオフィスのいずれのモードで発信するか優先順位を設定できます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して、「3.優先発信切替」を選択し、 (決定) を押す


3 を押して、優先発信するモードを選択する

4 (決定) を押す

完了音が鳴り、優先発信するモードが設定され、「設定しました」と表示されます。

公衆とオフィスが共に圏内のときは、現在優先発信に設定されているモードに◀または▶が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「オフィス、グループ優先」に設定されています。
- 待ち受け画面で  を約 1 秒以上押すことで、優先発信するモードを変更できます。

発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆+オフィス」に設定しているとき一時的にモードを切り替えて発信することができます。圏内、圏外にかかわらず、一時的に切り替えることができます。


1 相手の電話番号をダイヤルする

ダイヤルした電話番号が表示されます。

2 を押す

優先発信モードが切り替わります。

3 を押す

「」が点灯し、相手が出ると通話できます。



お知らせ

- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切替を次回からも有効にするには、優先発信切替で設定を変更します。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（※同じページ内です。）

オフィス番号を選択する（番号選択）

オフィスモードの番号が2つ以上登録されているときに、いずれかを選択します。

1 待ち受け画面で （Menuボタン）

  と押す

2 を押して、「1.オフィス1」～「0.オフィス10」のいずれかを選択する

登録番号が画面下部に表示されます。

3 （決定）を押す

お知らせ

- お買上げ時は、オフィスモードの番号が登録されていないため、オフィス1～オフィス10の選択はできません。

オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する場合、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。



● プッシュ信号の送信

通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。

● 内線番号表示

本電話機の内線番号を表示します。「プロフィールを表示する」(☞ 12-4ページ)


● 通話中保留

通話中に  を押して通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度  を押します。

● 内線／外線への転送

保留状態で転送先の番号をダイヤルし、転送先の相手が出たら  を押します。

● キャッチホン

通話中に「ブツブツ」という音（キャッチホン）が鳴ったときに、 を押して通話相手を切り替えます。

● 外線／内線／専用線の着信音鳴り分け

外線／内線／専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信音やアラームを設定する」(☞ 7-49ページ)

お知らせ

- 着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「相手呼び出す〔トランシーバ通話〕」(☞ 13-10ページ)、「相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕」(☞ 13-11ページ)、および「グループ内で電話帳やブックマークを転送する」(☞ 13-11ページ)を行うことができます。

■グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループは3つまで登録できます。

送信側1台と受信側1台以上の間で双方向に、または受信側同士で、トランシーバ通話および電話帳／ブックマーク転送が可能です。

■モードの切り替え

トランシーバ通話するには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。「待受モードを切り替える(待受モード)」(☞ 13-3ページ)電話帳／ブックマーク転送するには、待受モードを「転送」に切り替えます。

グループを登録する



電話機を送信側、受信側として登録します。登録を行うには、送信側1台と受信側1台以上の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。

グループは3つまで登録できます。グループごとに、あらかじめ同一の4桁の暗証番号を決めておく必要があります。

受信側の操作

登録するすべての電話機をお手元にご用意ください。まず、受信側の登録から始めます。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「1.登録」を選択し、


 (決定) を押す

送信または受信を選択する画面が表示されます。

3 を押す

4 を押して登録するグループを選択し、 (決定) を押す

▶ 登録済みのグループを選択したとき

「登録済みです 上書きしますか?」と表示されます。「1.はい」または「2.いいえ」のいずれかを選択し、 (決定) を押します。

5 ダイヤルボタンでトランシーバ番号を入力する

1～8000の4桁までの数字を入力します。

▶ トランシーバ番号を修正するには

最後の1桁を消す:  を押す

すべての桁を消す:  を約1秒以上押す

6 を押す


7 ダイヤルボタンで暗証番号(4桁)を入力する

「送信側の操作」(☞ 13-9ページ)の手順5で入力する暗証番号を入力します。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す:  を押す

すべての桁を消す:  を約1秒以上押す


8 を押す

「待機中」と表示されます。この間に、送信側の操作を行います。「送信側の操作」(※ 13-8 ページ内です。)の手順6のときに、送受信が開始されます。

送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。


▶ 登録できなかったとき


エラー音が鳴り、受信失敗となります。

を押すと、手順2の画面に戻ります。

送信側の操作**1** 待ち受け画面で  (Menuボタン)


  と押す

2 を押して「1.登録」を選択し、

 (決定)を押す

送信または受信を選択する画面が表示されます。

3 を押す**4** を押して登録するグループを選択し、 (決定)を押す**▶ 登録済みのグループを選択したとき**

「登録済みです 上書きしますか?」と表示されます。「1.はい」または「2.いいえ」のいずれかを選択し、 (決定)を押します。


5 ダイヤルボタンで暗証番号(4桁)を入力する

「受信側の操作」(※ 13-8 ページ)の手順7で入力した暗証番号を入力します。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す：を押す


すべての桁を消す：を約1秒以上押す

6 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認し、を押す

「送信中」と表示され、送信側の登録を開始します。送信が成功すると、完了音が鳴り、登録が完了します。

▶ 登録できなかったとき

エラー音が鳴り、送信失敗となります。



を押すと、手順2の画面に戻ります。

お知らせ

- 送信側と受信側の暗証番号は一致していません。

グループ登録を消去する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

▶ 登録されていないとき

「2.消去」は選択できません。

2 を押し、「2.消去」を選択する

3 (決定) または を押す

4 を押し、消去したいグループを選択し、 (決定) を押す

5 を押し、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

6 (決定) を押す

選択したグループ登録が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 待受けモードを「公衆／グループ」に設定して、登録してあるグループすべてを消去すると、待受けモードは「公衆」になります。

相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆／グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える(待受モード)」(P.13-3ページ)

1 待ち受け画面で ~ のいずれかを押す

自分の電話機のトランシーバ番号が表示されます。

2 相手のトランシーバ番号を入力する

入力したトランシーバ番号が表示されます。

▶ トランシーバ番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

3 を押す

相手が応答すると通話ができます。

4 通話が終了したら、 を押す

 が消灯し、通話が終了します。

お知らせ


- 次のときには通話が終了することがあります。
 - ・距離が離れすぎたとき
 - ・バッテリーの電圧が低下したとき
 - ・なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき
(このときには「ツーツーツー」という切断音が聞こえます)
- 通話中、約3分ごとに自動的に通話が切れますが、約3秒後にもう一度つながります。
- 電話帳からの発信はできません。

相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード）」(※ 13-3ページ)

1 着信音またはバイブレータが動作する



2 アンテナをのぼし、を押す

「」が点灯し、相手と通話できます。
通話時間が表示されます。

3 通話が終了したら、を押す

「」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 呼び出しを受けてから30秒たってもを押さないときには、自動的に接続を中止します。
- 着信中に、すぐに電話にでられないとき、を押して着信音やバイブレータの振動を止めることができます。
- 着信した番号は着信履歴に残りません。

グループ内で電話帳やブックマークを転送する

電話帳転送機能対応機どうして電話帳データやブックマークを転送することができます。次のデータが転送できます。

▶ 電話帳データ

名前	全角9文字（半角18文字）まで
読み	半角12文字まで
電話番号	32桁まで
番号種別	PHS、携帯電話、FAX、種別なし
メールアドレス	2件、各半角64文字まで
グループ	10種類まで

▶ ブックマーク

タイトル	全角10文字（半角20文字）まで
URL	半角200文字まで

転送モードに設定する（待受モード）

電話帳やブックマークを転送するには、転送先の電話機がグループ登録されており、待受モードを「電話帳転送」モードに切り替えておく必要があります。「グループを登録する」(※7-13-8ページ)

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押し、「4. 電話帳転送」を選択する

3 (決定) を押す

待受モードが電話帳転送モードに設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 「電話帳転送」モードでは音声通話はできません。
- 電話帳ロックを設定した状態では電話帳転送はできません。「電話帳をロックする（電話帳ロック）」(※7-4-22ページ)

電話帳を転送する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押し、「1. 電話帳」を選択する

3 (決定) を押す

4 を押し、「1. 指定して転送」を選択する

▶ 「2. 全て転送」を選択したとき

手順8へ進みます。

5 (決定) を押す

電話帳検索画面が表示されます。
前回使用した検索方法に設定されています。
「電話帳を使って電話をかける」(※7-3-6ページ)

6 電話帳を検索し、転送する電話帳を選択する

7 (指定) を押す

続けて他の電話帳を選択するときは、手順6から繰り返します。

8 (決定) を押す

グループ番号を選択する画面が表示されます。

9 を押し、転送先のグループを選択する

10 (決定) を押す

11 転送先のトランシーバ番号を入力し、 または (送信) を押す

転送が開始されます。

12 転送を終了する

▶ 転送が完了したとき

完了音が鳴り、待ち受け画面に戻ります。

▶ 転送に失敗したとき

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■ 受信側の表示

受信中は「受信中」、受信が終了すると「受信終了」と表示されます。



転送された電話帳の登録内容が電話帳に登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

お知らせ

- 電話帳シークレットを「表示する」に設定中で、シークレット設定した電話帳データを選択した場合は、手順8の操作のあと、シークレットの電話帳を転送してよいか確認する画面が表示されます。「1.はい」を選択し、○（決定）を押すと、暗証番号を入力する画面が表示され、暗証番号を入力し、○（決定）を押すと、手順8の画面が表示されます。「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押すと、シークレットの電話帳データは転送されません。「電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）」(P.7-43ページ)

ブックマークを転送する

1 待ち受け画面で (Menuボタン)

  と押す

2 を押して、「2.ブックマーク」を選択する

3 ○（決定）を押す

4 を押して、「1.指定して転送」を選択する

- ▶ 「2.全て転送」を選択したとき
手順9へ進みます。

5 ○（決定）を押す

6 を押して、転送したいブックマークのあるフォルダを選択し、○（決定）を押す

7 を押して、転送するブックマークを選択する

8 (指定) を押す

続けてほかのブックマークを選択するときは手順7から繰り返します。

9 ○（決定）を押す

10 を押して、転送先のグループを選択する

11 ○（決定）を押す

12 転送先のトランシーバ番号を入力し、 または ○（送信）を押す

転送が開始されます。

13 転送を終了する

▶ 転送が完了したとき

完了音が鳴り、待ち受け画面に戻ります。

▶ 転送に失敗したとき

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■ 受信側の表示

受信中は「受信中」、受信が終了すると「受信終了」と表示されます。

転送されたブックマークデータがブックマークに登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

